オールジャパンオリンピックという提案

オールジャパンオリンピック推進委員会

NPO法人ユニグラウンド

目次

感染拡大の中でオリンピックを大成功に導く秘策・・・3

開催に向け立ちはだかる壁・・・・・・・・・・・・・・・5

肝心な費用の問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

900億円ものチケット購入者の行く末・・・・・・・・・8

人類史に残る真のレガシー ・・・・・・・・・・・・・・10

感染拡大の中でオリンピックを大成功に導く秘策

東京の人口1396万人＋世界中の選手団＋観客が集結した場合の感染拡大リスクは計り知れません。
しかし、「オリンピックは必ず開催しなければならない」となれば、感染拡大のリスクを最大限に抑える方法はたった一つ。

それは

東京で行うのではなく、日本全土で行う方法です。

開催に向け立ちはだかる壁

仮に、日本全体で行う事を検討した場合に、
必ず全国の自治体からは不安の声が上がるはずです。
しかしながら、オリンピックを大成功させるには、
この壁を越えなければなりません。

では、どう越えるのか

開催に向け立ちはだかる壁

壁を越えるための方法

１：競技場を人里離れた場所にする

２：選手団の移動ルートを完全に一本化する

３：飛行場を国際線離発着可能にする

まだまだ細かな回避策は存在しますが、主にこの三つが柱になります。

肝心な費用の問題

日本全土が開催地となれば地方創生の交付金が利用可能となります。

また、オリンピックのスポンサー企業は全国に存在しています。

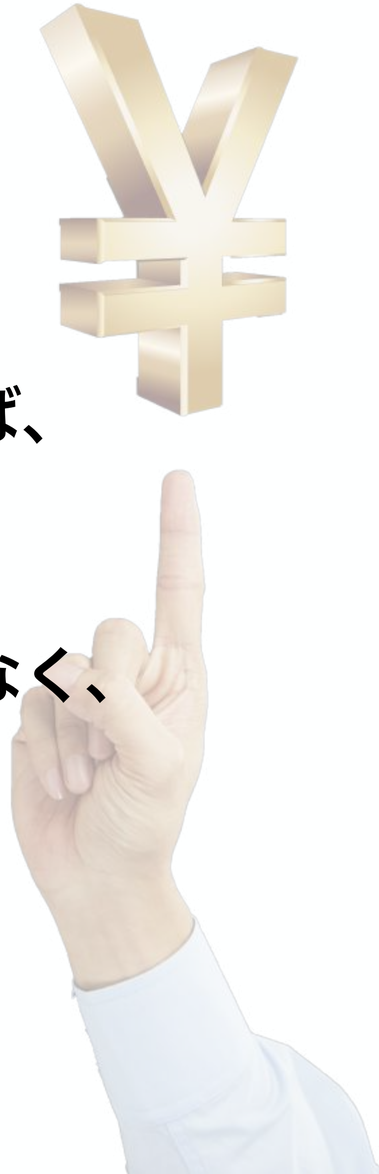
スポンサー企業もオリンピックを通して地元への貢献が出来るとなれば、

必ずやご協力頂けると考えています。

日本の経済が沈む中で、オリンピックを単純に東京で開催するのではなく、

日本全土で開催し、日本全体の経済効果に繋がる事こそが、

どれほど意味のある事かは明白です。



900億円ものチケット購入者の行く末

現在、無観客で行うか否かをご検討中と思われますが、
900億円のチケット代を無駄にする必要性もなく、
さらに売り上げを伸ばす方法があります。

その方法とは

900億円ものチケット購入者の行く末

チケット代を無駄にしない方法

１：上記の通り全国の空港が国際線離発着可能となれば、海外の観戦者の来場がスムーズになります。

※徹底したPCR検査等が全体条件

２：観戦者が陽性のため、観戦または、入国出来なかった場合の配慮として、積極的なテクノロジーの活用によって、自宅等での観戦を可能にする。

３：２におけるテクノロジー等は、更なる特別バーチャル観戦チケットの販売を可能にします。

※バーチャルでの観戦は観客数に制限がない為、実際の動員数よりも売り上げを上回る可能性があります。（360度VR映像など）

人類史に残る真のレガシー

数々のオリンピックが開催されてきましたが国全土で
行ったオリンピックは歴史上存在しません。
それだけでも歴史的な事ですが、オリンピックには欠かせない
開会式と閉会式を全競技場をネット中継で繋ぎ連動させる事で
史上最大級の開会式と閉会式になるはずです。
そして世界中の人々がこのオリンピックを目撃する事により、
人類史にプラスとなるレガシーが完成することでしょう。